

昭和37年度例会

例会には第1部と第2部とがあります。

第1部 一般研究発表

第2部と同じ日に行なわれます。希望者は講演題目、要旨、所要時間を学会所定の講演申込用紙に記入して
東京都杉並区馬橋 気象研究所 今井一郎 あて申し込むこと。

第2部 選定題目講演会

次の日程に従って行なわれます。講演申込と詳細の照会はそれぞれの受持委員にして下さい。

主 題	会期	申 込 締切日	受 持 委 員
気象災害	10月	8/31日	研 究 所：渡辺
風のシンポジウム	11月	9/30日	測 器 課：清水
気象統計	12月	9/30日	長期予報：朝倉
台風	12月	10/31日	予 報 課：石原 研 究 所：松本 研 究 所：渡辺
生気候	12月	10/25日	研 究 所：神山
太陽活動と放射	(38年) 1月	11/20日	長期予報：朝倉

主 題	会期	申 込 締切日	受 持 委 員
気象電気	1月	11/20日	研 究 所：今井
気候	1月	11/20日	長期予報：朝倉
長期予報	2月	12/20日	長期予報：朝倉
レーダー気象	2月	12/20日	研 究 所：今井
観測と測器	2月	12/25日	測 器 課：清水
メソ気象	3月		研 究 所：相原
対流雲	3月		研 究 所：相原 研 究 所：今井
航空気象	3月		研 究 所：渡辺 東京航空：上松

例会の研究発表募集

長期予報

会期：2月19日 会場：未定 申込先：東京都千代田区大手町気象庁予報部 朝倉正 切期日：12月20日

レーダー気象

会期：2月28日 会場：気象庁第一会議室 申込先：東京都杉並区馬橋 気象研究所 今井一郎 切期日：

12月20日

観測と測器（これからの気象観測について）

会期：2月8日 会場：気象庁第一会議室 申込先：東京都千代田区大手町気象庁観測部 清水逸郎 切期日：12月25日

12月例会のお知らせ

台 風

会期：昭和37年12月14日 13時30分より

会場：予報部会議室

第2部講演題目

1. 田辺三郎(気象庁予報)：1962年台風22号、23号および8月を中心とする台風について（発生期その他の特性） (20分)
2. 石原健二・野口敏正(気象庁予報)：台風による最大風速 (20分)
3. 渡辺和夫(気研台風)：レーダーで観測された第2室戸台風 (スライド) (20分)
4. 高橋喜彦(気研物理)：台風の発達過程における緯度効果 (スライド) (15分)
5. 伊藤 博(気象庁電計)：台風の発達について (スライド) (40分)

気象統計

会期：昭和37年12月14日 13時より

会場：気象庁第二会議室

第2部講演題目

1. 川村 武(東管)：本邦における冬季の降水分布の総観気候学的考察 (15分)
2. 迎 正秋(気象庁高層)：水蒸気移流と降雨の関連 (20分)
3. 迎 正秋(気象庁高層)：水蒸気移流と北陸地方豪雪 (20分)
4. 正務 章(東管)：確率雨量の意味とその応用上の注意 (10分)
5. 藤田敏夫、本多庸浩(気研予報)：冬季北陸地方の雲の統計 (20分)
6. 今井一郎、柳瀬利子(気研台風)：雨域の大きさについて (10分)
7. 井沢竜夫(気研台風)：平均台風の構造について (20分)
8. 鈴木榮一(気研予報)：離散要因をもつ判別予報式について (20分)
9. 鈴木榮一(気研予報)：福井県の大雨の機構について (20分)